

新型コロナウイルス感染症対応



森 政郎 議員

新型コロナウイルスに振り回される日常が恒常化、社会・経済活動は停滞し未曾有の危機を迎えた。緊急事態宣言は解除されたが第2波の到来も懸念される。「新日常」を取り戻すため、国・県の支援策や町独自対策が講じられている。「①被害等の町把握状況 ②緊急支援事業の実施状況 ③避難所対策、寄贈物の処理、見直し等」について質問した。

町長

2月に町対策本部を設置以降、感染防止対策や支援事業を全庁体制で取り組んでいる。コロナ対策に配慮しつつ、生活が戻ってきていると感じている。

①経済面とか健康面、感染状況や支援事業等、相談・問合せは、全体で1,817件あり、各課で対応した。
②緊急支援事業の実施状況

事業名	対 象	受 付	実 施
特別定額給付金(10万円) 8,471世帯	23,726人	8,013世帯	22,588人
高校生教育支援事業(1万円)	807人	281人	
奨学金利用大学生教育支援事業(5万円)	250人	64人	
生活資金貸付金支援事業(10万円)		13件	10件
子育て世帯への臨時特別給付金(1万円)	3,170人		
池田っ子の特別給付金(2万円)	3,061人	6/10振込	
ひとり親世帯の子育て応援給付金(1世帯2万円)	153世帯	5/15完了	
障害児子育て世帯特別給付金(1世帯2万円)	43世帯	5/15完了	
まちを明るくする商品券事業(8,000冊)		3日間で完売	
会計年度任用職員の採用(5人)		1人採用	

③新型コロナウイルス対応の避難所運営マニュアルは策定済みで、マスク・消毒液等の備品関係も準備を進めている。

る。町へ寄贈された備品等の消毒液140リットルは5児童クラブ等へ、マスク860枚は町内4機関へ、アルコール消毒液204本は小中学校へ配備。花は役場玄関に、ふきん70枚は小中学校の食堂に配置した。新しい生活スタイル・社会に向けていく必要がある。

定額給付金95・2%給付済や商品券完売など、町の取組姿勢に敬意を表する。国の持続化給付金の状況や、インフルエンザワクチン接種・行事開催前のPCR検査の検討は、また、十分に社会的距離を保てる避難所数か。

町長

町を通じない持続化交付金や県協力金については把握していない。インフルエンザも危惧しておりワクチン摂取で予防をし、新型コロナウイルスに備える必要がある。町行事のPCR検査は考えず、マスクや社会的間隔等の対策をとる。避難所は大災害時には、教室や地区公民館も使用し、その準備も進める。

洪水ハザードマップについて

3種類の「池田町洪水ハザードマップ」は、どのように区分し活用するのか。また特大サイズだがどのような保管方法を前提としているか。町広報等での案内が必要では。

町長

国土交通省の指針で河川別にA1サイズで作成し、目につくところに置いていただくため袋に入れて配布した。情報・学習編と地図編で構成され、守るべき行動・変化に応じた行動等を理解していただきたい。使用方法は区長会や町政報告会で説明を予定したが、中止となった。広報7月号で周知するが、避難経路の確認や警戒レベルに応じた取るべき行動、非常持出品や備蓄品を準備していただきたい。

第六次総合計画について

第六次総合計画概要版「池田町の未来さがし」が配布された。10年前配布の「第五次総合計画ダイジェスト版」と比較したが、ダイジェスト版の12・13頁に「めざすまちの姿(指標抜粋)」が掲載されているが、第六次概要版ではない。第五次総合計画の総括は実施したのか。

町長

総合計画は昭和47年以来、町事業を進めていくための1つの基本柱である。第5次総合計画当時は、マニフェストという言葉で指標に向かっていたというものが全体的な流れだった。最近では状況に合わせながら、やるということに社会構造が切り替わってきた。5次総の総括は、6次総最初の審議委員会で私の考えとして80%達成できているという判断を、総括を含めた挨拶とした。

長期計画は総括・評価を実施し、反省・成果を踏まえて次期計画へつなげるべきだと思う。